

鴻上市議会だより

みんなのギカイ

2018. 4. 1 No.52 3月定例会の内容をお伝えします。



CONTENTS

決まりました	P 2
委員会	P 5
市政を問う	P 8
議場見学しました	P12

議場見学から

147億8,600万円 102億5,189万5千円

3月定例会は3月5日から22日までの18日間にわたり開かれました。一般質問者4名、審議した議案は条例14件、補正予算10件、特別会計への繰入れ3件、一部事務組合規約の一部変更2件、指定管理者の指定1件、当初予算12件、市道路線認定及び変更1件、人事案1件を原案どおり可決・同意しました。

● 主 な 事 業 ●

- 新規** コミュニティ・スクール事業 108万円
- 新規** 大豊小学校大規模改修事業 7億5,472万円
- 新規** 水産業競争力強化施設整備緊急対策事業 (活魚施設改修) 5,133万円
- 継続** 防災・健康拠点施設整備事業 1億6,050万円
- 継続** 障害者福祉事業 6億8,275万8千円
- 継続** 母子保健事業 4,198万3千円
- 継続** 成人保健事業 8,824万4千円
- 継続** 農業次世代人材投資事業 1,650万円
- 継続** 大豊小学校線改良事業 1億5,639万8千円
- 継続** 消防ポンプ更新 (分団消防車) 1,338万1千円



就任のご挨拶

潟上市議会議長 西村 武

市民の皆様には日頃より市議会に対し、ご理解とご協力を頂き、誠に感謝いたします。去る2月22日、第一回臨時会において選任頂き、職責の重大さに身の引き締まる思いで就任いたしました。私は、これまで町議と市議を合わせ八期三十一年間議員として活動を続けて参りました。この経験を活かし、議会運営においては正義と勇気で公正・公平に努めて参ります。

今日、地域社会は激動する経済社会情勢の中で日々進展し、変革しております。議会も行政もこれ等の確に対処していかなければならないと思っております。これからの時代、議員がただ単に市民の声と心を代表し代弁す

るだけの役割に終始するだけではなく、一歩踏み出して常に市民の中に飛び込み、市民との対話を重ね、市民の悩みと声を汲み取りながら、議論を重ね調査研究を進めて市民全体の福祉向上に努めて参りたいと考えております。

地方自治の二元代表制、議会が持つ二つの使命、それは具体的な政策の最終決定と行財政運営の批判と監視であり、その使命を完全に達成出来るよう、議会の一員として懸命に努力することこそ議員の職責であります。今後とも市民の皆様様の温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

● 一般会計当初予算総括表 ●

《歳入》

(単位:千円、%)

款	予算額	構成比	前年比増減率
1 市 税	2,531,075	17.1	0.2
2 地 方 譲 与 税	135,000	0.9	0.7
3 利 子 割 交 付 金	4,000	0.0	100.0
4 配 当 割 交 付 金	4,000	0.0	▲ 42.9
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,000	0.0	▲ 66.7
6 地 方 消 費 税 交 付 金	552,000	3.7	6.2
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	26,000	0.2	0.0
8 地 方 特 例 交 付 金	19,000	0.1	11.8
9 地 方 交 付 税	5,922,000	40.1	▲ 1.0
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,000	0.0	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	128,632	0.9	▲ 2.5
12 使 用 料 及 び 手 数 料	170,173	1.2	▲ 3.4
13 国 庫 支 出 金	1,685,207	11.4	3.9
14 県 支 出 金	945,116	6.4	▲ 13.5
15 財 産 収 入	2,788	0.0	▲ 6.0
16 寄 附 金	1,084	0.0	973.3
17 繰 入 金	717,549	4.9	59.3
18 繰 越 金	350,000	2.4	▲ 38.5
19 諸 収 入	194,276	1.3	7.7
20 市 債	1,393,100	9.4	▲ 17.4
歳 入 合 計	14,786,000	100.0	▲ 2.3

《歳出》

(単位:千円、%)

款	予算額	構成比	前年比増減率
1 議 会 費	174,370	1.2	▲ 6.8
2 総 務 費	1,404,816	9.5	▲ 35.8
3 民 生 費	5,305,653	35.9	▲ 10.7
4 衛 生 費	1,088,802	7.4	15.9
5 労 働 費	688	0.0	77.3
6 農 林 水 産 業 費	569,292	3.8	11.2
7 商 工 費	308,498	2.1	▲ 21.5
8 土 木 費	1,312,386	8.9	13.2
9 消 防 費	890,079	6.0	▲ 2.6
10 教 育 費	1,933,835	13.1	68.1
11 災 害 復 旧 費	3,000	0.0	▲ 50.0
12 公 債 費	1,779,581	12.0	2.7
13 予 備 費	15,000	0.1	0.0
歳 出 合 計	14,786,000	100.0	▲ 2.3

2018年
3月定例会
3月5日～22日

平成30年度 一般会計
(当初予算総額) 各特別会計・企業会計

基金現在高(見込)

(単位:千円)

	平成29年度末	平成30年度増減	平成30年度末
財政調整基金	2,103,079	▲389,999	1,713,080
減債基金	100,181	▲100,000	181
特定目的基金			
小学校建築基金	10,012	▲10,012	
ふるさと応援基金	45,339	▲12,399	32,940
合併振興基金	1,370,672	▲180,000	1,190,672
合計	3,629,283	▲692,410	2,936,873

一般会計歳入性質別予算

(単位:千円、%)

区分	一般財源		特定財源		合計	構成比
	予算額	構成比	予算額	構成比		
自主財源						
1 市税	2,531,075	17.1		0.0	2,531,075	17.1
11 分担金及び負担金		0.0	128,632	0.9	128,632	0.9
12 使用料及び手数料	32,571	0.3	137,602	0.9	170,173	1.2
15 財産収入	2	0.0	2,786	0.0	2,788	0.0
16 寄附金	1,084	0.0		0.0	1,084	0.0
17 繰入金	390,000	2.7	327,549	2.2	717,549	4.9
18 繰越金	350,000	2.4		0.0	350,000	2.4
19 諸収入	21,101	0.1	173,175	1.2	194,276	1.3
小計	3,325,833	22.6	769,744	5.2	4,095,577	27.8
依存財源						
2 地方譲与税	135,000	0.9		0.0	135,000	0.9
3 利子割交付金	4,000	0.0		0.0	4,000	0.0
4 配当割交付金	4,000	0.0		0.0	4,000	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	2,000	0.0		0.0	2,000	0.0
6 地方消費税交付金	552,000	3.7		0.0	552,000	3.7
7 自動車取得税交付金	26,000	0.2		0.0	26,000	0.2
8 地方特例交付金	19,000	0.1		0.0	19,000	0.1
9 地方交付税	5,922,000	40.1		0.0	5,922,000	40.1
10 交通安全対策特別交付金	3,000	0.0		0.0	3,000	0.0
13 国庫支出金		0.0	1,685,207	11.4	1,685,207	11.4
14 県支出金		0.0	945,116	6.4	945,116	6.4
20 市債	430,000	2.9	963,100	6.5	1,393,100	9.4
小計	7,097,000	47.9	3,593,423	24.3	10,690,423	72.2
歳入合計	10,422,833	70.5	4,363,167	29.5	14,786,000	100.0

各特別会計・企業会計予算

(単位:千円、%)

会計名	予算額	前年比増減率
社会保障関係	7,949,717	▲ 9.6
国民健康保険事業特別会計	3,701,999	▲ 18.4
後期高齢者医療特別会計	309,151	7.0
介護保険事業特別会計	3,938,567	▲ 0.7
下水道関係	1,277,972	▲ 6.0
農業集落排水事業特別会計	102,010	▲ 21.6
下水道事業特別会計	1,168,229	▲ 4.3
合併処理浄化槽事業特別会計	7,733	▲ 6.3
財産区	2,327	▲ 0.9
豊川財産区特別会計	384	0.3
下虻川財産区特別会計	610	13.0
和田妹川財産区特別会計	532	▲ 14.7
飯塚財産区特別会計	801	0.0
企業会計	1,021,879	5.4
水道事業会計	1,021,879	5.4
計	10,251,895	▲ 7.8

一般会計歳出性質別予算

(単位:千円、%)

区分	予算額	構成比	前年比増減率
義務的経費	7,204,595	48.7	0.2
人件費	2,762,591	18.7	▲ 1.0
扶助費	2,662,423	18.0	▲ 0.3
公債費	1,779,581	12.0	2.7
投資的経費	1,653,705	11.2	▲ 20.9
普通建設事業費	1,650,705	11.2	▲ 20.9
うち補助事業	344,408	2.3	52.2
うち単独事業	1,306,297	8.9	▲ 29.7
災害復旧事業費	3,000	0.0	▲ 50.0
その他	5,927,700	40.1	1.3
うち物件費	1,838,170	12.4	4.1
うち維持補修費	289,734	2.0	59.9
うち補助費等	1,660,045	11.2	▲ 0.2
うち一組負担金	908,364	6.1	▲ 1.8
うち繰出金	1,988,049	13.4	▲ 3.1
うち積立金	1	0.0	0.0
歳出合計	14,786,000	100.0	▲ 2.3

3月定例会に提出された議案等

◆条例の制定・改正 全案可決

- 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例
- 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 防災行政無線通信施設設置条例の一部を改正する条例
- 非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 勤労青少年ホーム設置条例の一部を改正する条例
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 介護保険条例の一部を改正する条例
- 市営住宅条例の一部を改正する条例
- 砂利採取計画の認可等手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

- 都市公園の設置に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

◆各会計への繰入れ 原案可決

- 平成30年度農業集落排水事業特別会計への繰入れ
- 平成30年度下水道事業特別会計への繰入れ
- 平成30年度合併処理浄化槽事業特別会計への繰入れ
- 平成30年度合併処理浄化槽事業特別会計への繰入れ
- 4億9,889万7千円以内

◆指定管理者の指定 原案可決

- 防災・健康拠点施設の指定管理者の指定

◆一部事務組合規約の一部変更 全案可決

- 男鹿地区消防一部事務組合規約の一部変更
- 男鹿地区衛生処理一部事務組合規約の一部変更

◆補正予算 全案可決

- 一般会計補正予算（第9号）
- 国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号）
- 介護保険事業特別会計補正予算（第5号）
- 農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- 下水道事業特別会計補正予算（第5号）
- 豊川財産区特別会計補正予算（第1号）
- 下虻川財産区特別会計補正予算（第1号）
- 和田妹川財産区特別会計補正予算（第1号）
- 飯塚財産区特別会計補正予算（第1号）

◆市道路線の認定及び変更について 原案可決

- 市道路線認定 4路線
- 市道路線変更 12路線

◆陳情 採択

- 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情

◆人事案件 同意

- 潟上市教育委員会教育長の任命

工藤素子氏 新任
(天王字長沼)

予算特別委員会

3月定例会において、潟上市議会予算特別委員会が設置され、全議員で予算関連の議案等を審査しました。3月9日は大綱質疑を行い、次の点について質問があり、当局からそれぞれ回答がありました。

- 前年度肉付け予算は、いつ現在のものか。
 - 後期高齢者医療保険料の特別徴収保険料の補正額がかなり大きくなっているが、その理由は。
 - 介護保険事業の繰越金が基金へ積立てされることにより、介護保険財政に対する当局の見解は。
 - コミュニティスクールの努力目標が示されているが、時代的な背景、教育の実施内容、提案された経緯や潟上方式があるのか。
 - 八郎潟ハイム跡地に設置する備蓄庫は市が直営で管理するが、この後の6月補正や県からの支出金などで賄っているのか。
 - 共通商品券事業が無くなった理由と、今後復活する予定はあるのか。
 - 合併特例債の考え方と、今後3年からの5年の財政見通しは。
 - 自殺対策計画策定があるが、今年どの程度まで各町内会を含めた進め方をするのか。
 - 成人保健事業のうち新規で歯科健診事業があるが、進め方や受診者の規模をどのように考えているのか。
 - 国民健康保険税の滞納繰越分の状況と、取められない方へどのような指導をしているのか。
 - 国民健康保険事業の都道府県化により、財政的な基盤は県が持つことで市の予算が前年度より減額となっているが、その仕組みは。
- また、3月22日には各分科会で詳細審査した議案等についてそれぞれ分科会委員長より報告があり、質疑・討論・採決の結果、すべて原案のとおり可決すべきものと決し、特別委員会の審査を終了しました。

総務文教

総務部、教育委員会、会計課、監査、選管、議会事務局に関する事務の調査、議案、陳情などの審査を行います。



【委員長】 佐藤 義久
 【副委員長】 鏡 仁志
 【委員】 瓜生 望
 西村 武
 鈴木斌次郎
 堀井 克見

こんな質問が出ました。

Pick up 1

防災・健康拠点施設の指定管理者の指定

問 指定管理者の募集、告知方法と期間及び指定管理料は。

答 12月25日からホームページ、広報1月号へ掲載、告知し、募集期間は前例を踏襲し、概ね1か月程度としました。指定管理料については現在積算段階で今後協議を重ね、6月補正で提案します。

Pick up 2

平成29年度一般会計補正予算（第9号）

問 社会福祉施設整備事業債として追加補正した理由と内容は。

答 飯田川保健福祉センターの屋根、外壁修繕と旧事務室等を児童センター、児童クラブとして改修しました。

Pick up 3

平成30年度一般会計予算

問 地方交付税減収の今後の見通しと市の対応は。

答 平成27年度から合併算定替えの分が編成されており、平成30年度の縮減率は70%で約4億1,000万円を見込んでいます。平成32年度には縮減前の60億円から約6億円の減少の見込み。市としては、自主財源を増やせなければ歳出を減らす対応になります。

問 合併特例債の期限と残額はどれだけ残っているのか。

答 期限は平成31年度までで、残額は平成30年度末で12億970万円。執行率は90・8%の見込みです。

問 大豊小大規模改修と児童クラブ整備計画の予算を一本化し、事業費の圧縮をすべきでは。

答 学校は文部科学省、児童クラブは厚生労働省と分かれていて、それぞれの補助金利用の際は経費を明確にしなければいけない為、予算を分けています。

事業費圧縮の為に新築や中央保育園の大規模改修よりは圧縮できるという判断で、大豊小への設置案を進めています。

問 マイタウンバスの路線拡充や小型化等、今後の計画は。

答 空白区域と低利用率の路線は、デマンド型乗合タクシーの導入を考えています。小型化は、現在の状況からすると燃料費は減少しますが、車両の新規購入費用が新たに発生するので、車両更新時に検討したいと考えています。

問 学校運営協議会[※]の立上げ方と予算の内訳は。

答 今年度は3回の会議を行い、議論を進め、次年度へと反映させます。予算は委員の報酬の他に、費用弁償があります。

※学校運営協議会（コミュニケーション・スクール）とは

学校・保護者・地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ地域と一体となつて子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を進める協議会です。

社会厚生

市民福祉部に関する事務の調査、議案、陳情などの審査を行います。



【委員長】 小林 悟
 【副委員長】 菅原理恵子
 【委員】 鈴木 壮二
 澤井昭二郎
 中川 光博
 大谷 貞廣

こんな質問が出ました。

Pick up 1
 平成29年度一般会計補正予算(第9号)

問 国民健康保険事業特別会計繰出金の補正額の内訳は。

答 事業の精算に伴い、保険税軽減分が659万9千円の減額、同じく保険者支援分が186万1千円の減額、財政安定化支援事業繰出金が667万1千円の減額で合計1,513万1千円の減額となります。

Pick up 2
 平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)

問 基金残高の推移はどのようなか。

答 平成28年度末では1億3,023万1千円となっております。ここ数年は同じような額で推移しており、基金利子の増加分のみとなっております。

Pick up 3
 平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)

問 後期高齢者の被保険者数はどれくらいか。

答 11月1日現在ですが、平成27年度が4,985人、28年度が5,107人、29年度見込が5,241人となっております。毎年120人程度増えている状況です。

Pick up 4
 平成29年度介護保険事業特別会計補正予算(第5号)

問 介護予防支援計画(ケアプラン)件数はどれ位増えたのか。

答 当初予算において1,260件の見込みでしたが、実績から149件の増を見込み64万700円の増となっております。平成28年度末まで8,593万円、平成29年度末まで1億1,550万円の見込みです。

Pick up 5
 平成30年度一般会計予算

問 一般廃棄物処理最終処分場

答 最終処分場の計画についての検討の結果、外部委託による延命の方法があり、15年間の延命化を図る計画となっております。

問 新設と延命化の費用負担の軽減の比較は。

答 費用比較した場合、新設に比べ延命化する場合は約6億1千万円の費用負担の軽減となります。

問 自殺予防対策計画検討委員会の立ち上げについては。

答 若年層の自殺増により様々な社会的要因があることを踏まえ、自殺対策を社会的な取り組みとして実施する必要があるためです。国の法改正に伴い、県・市町村に計画を策定するようになった背景があります。

Pick up 6
 平成30年度介護保険事業特別会計予算

問 認知症総合支援事業費について、若年性認知症の方への対応は。

答 若年性認知症の方に対して、相談があった場合は地域包括支援センターで対応しています。また必要に応じて、県の若年性認知症相談窓口と連携して対応していきます。

産業建設

産業建設部、水道局、農業委員会に関する事務の調査、議案、陳情などの審査を行います。



【委員長】

伊藤 正吉

【副委員長】

佐藤 敏雄

【委員】

菅原 秀雄

戸田 俊樹

児玉 春雄

藤原 典男

こんな質問が出ました。

Pick up 1

平成29年度一般会計補正予算（第9号）

問 青年就農給付金の申請者1名の辞退により減額だが、理由は、

答 農業所得の向上と、受給者は受給期間の5年間及び受給後3年間の計8年間は実施状況報告書を提出しなければならぬため、辞退したと伺っています。

Pick up 2

平成30年度一般会計予算

問 道路橋梁費補助金の内訳は、大豊小学校線改良で1億4,900万円に対し、補助金は8,850万6千円で現在継続中であり、平成30年度に完成予定です。

答 他は追分下出戸線、天王大久保線、二田大崎線、大清水下谷地線の3路線の舗装補修です。また松

洲橋補修、中羽立橋補修、舗装長寿命化計画の策定で舗装の路面の調査、橋梁等長寿命化修繕計画の策定で計6事業です。

問 潟上市就業資格取得等助成金はどのような職種が対象か。

答 介護福祉士関連、パソコン検定、フォークリフトや大型自動車免許などで計15件です。本助成金の申請条件が休職中、あるいは非正規雇用の方で資格を取得した場合に正規雇用が見込めることが条件となっているため、すべて正規雇用されていると捉えられています。

問 活魚施設改修工事の経緯と内容は、

答 国の方針である「地域の活力再生プラン」を策定し、漁協の役員も含めた委員と漁業者と話し合いを行い、若い人たちが頑張っている採貝漁業（イワガキ）を主体で実施し、県内一の出荷量である活魚施設についても合わせて実施したいという意見がありました。その内容について水産庁へ計画書を提出して事業を行っているところですが、道路際にある建物

を全部解体し、同規模で後ろに下げる計画です。工事着手は夏ごろの予定です。

問 観光協会補助金について、活動内容は、

答 主なものは、飯田川鷺舞まつり実行委員会補助金140万円と八郎まつり実行委員会補助金200万円です。その他、出戸浜海水浴場駐車場整備に係る補助金、東湖八坂神社祭典への支援などです。

問 グリーンランドまつりは、800万円ほどで市の一般会計からの支出になっているが、他のまつりと一本化できないか。

答 主催の違いがあります。飯田川鷺舞まつりと八郎まつりは、地元自治会や有志などでの実行委員会の主催で、天王グリーンランドまつりは市の主催です。



地域防災等について



菅原理恵子
議員

質問 大規模災害時には、基本団員だけでは人員不足に陥ることから、機能別団員導入の考えは。

答弁 消防団の充実強化に向け、本年1月19日付で、政府より通達がありました。現在、県内で機能別消防団を導入しているのは7市2町です。今後、団員に大幅な不足が生じる恐れがある場合、必要に応じ「機能別団員」の棲み分け、導入を図ります。

質問 消防団の処遇改善についての考えは。

答弁 この度、消防庁より処遇の改善として、年額報酬や出勤手当の引き上げについて通達があり、県内市町村の動向を見ながら検討します。

質問 消防団の器具庫整備等、活動拠点の環境整備について、計画



藤原 典男
議員

基準・優先順位についての考え方は。
答弁 「潟上市公共施設等総合管理計画」に基づき、30年以上経過した分団器具庫については、老朽化等の状況を総合的に判断し、事業内容が偏らないよう、消防施設の整備拡充と拠点の環境整備についてローリングしながら事業執行してまいります。

公共交通網形成について

質問 追分地域にマイタウンバス運行の予定は。

答弁 市役所・天王グリーンランドを目的とした路線の新設が要望されており、現在デマンド型乗合タクシー導入を検討。道路運送法に基づき運輸支局や県などと協議。さまざまな角度から調査・検討し、平成31年度から実証運行ができるよう準備を進めています。

質問 公共交通バスと路線バスの利用運賃の統一性については。

答弁 出戸・追分地域を通過する秋田中央交通運行でも、市が発行する「割引利用券」を使用することで、潟上市内乗車に限りマイタ

ウンバスと同額の150円で利用することが出来ます。

質問 天王小学校にもスクールバスの運行・公共交通バスを登下校時間帯に運行する考えは。

答弁 マイタウンバスの運行時刻は、JRとの接続を重点的にしており、登下校時に合わせることは、運行本数を増便する必要があり、財政負担が伴います。保護者の要望・児童の便益も含め、引き続き検討します。



マイタウンバス

義務教育の就学前援助について

質問 近隣自治体が入学前支給を

年度の入学前支給は見送りでしたが、平成31年度入学者からは入学前支給を実施予定です。対象者の準要保護児童生徒の認定基準は、保護者が生活保護法の規定による保護の停止または廃止措置を受け

行っていることから、平成31年度以降は入学前支給が望ましいのでは。
答弁 要綱の見直しや平成30年度の予算措置をしており、平成31年度入学からは入学前支給を実施する予定です。

中小企業の設備投資の支援について

質問 政府は、平成30年度税制改正において、国・市町村が主体となつて中小・小企業の投資を後押しし、生産性向上を支援するため、今後3年間を集中投資月間と位置付けました。中小企業の生産向上に向け、支援策を講じてみては。

答弁 一定の条件に該当し、本制度を利用しようとする企業は、年率3%以上の労働生産性の向上を見込める「先端設備等導入計画」を策定し、所在する市町村が「導入促進基本計画」を策定していれば、各種補助事業の採択が緩和されます。商工会など関係機関と連携しながら、本制度の導入について前向きに検討しています。

促進への取り組みと、解体後の固定資産税減免措置への対応も必要ではないか。

答弁 倒壊など危険性の高い特定空き家については、自治会等と連携し応急措置などの対応を行うと

と子どもの

第2次潟上市 総合計画について



大谷 貞廣
議員

質問 マネジメントシステムと連携、目標達成点検、評価方法とは。
答弁 総合計画は長期ビジョン、基本計画、実施計画の3層構成で成り立っています。進行管理は計画期間が終期を迎えるタイミングで、成果指標や活動指標の将来目標に対する達成状況を確認、全体や政策・施策に反映、本市に於い

質問 二田追分線の歩道計画は。
答弁 平成26年度から国の補助事業として着手、今後、国庫補助事

質問 下水道に生活排水を流す污水管と、大雨に対応する雨水管の整備普及は。
答弁 市の下水道事業は污水管と、昭和・飯田川地区は河川に放流する雨水管渠の整備、天王地区は地形的要因により雨水処理計画はなく、平成25年に県下水道課と東北地方整備局と協議するも採択要件があり、実施困難の指摘を受けています。

質問 台風による高潮の対応は。
答弁 気象庁が発信する情報と秋田気象台との連絡体制を確立。警報レベルに従って職員を配備し、住民への避難勧告等の早期発令に努めます。

ての事務事業の行政評価がマネジメントシステムに該当、行政評価の結果との連携を図って計画事業の改善や予算編成の参考としています。進行管理体制は庁内の総合計画政策会議、外部市民20人のまちづくり市民会議を設置、毎年計画の進捗状況の検証を行っています。

業費予算配分状況にもよりますが順次、工事着手予定です。
雨水排水のインフラ整備について

質問 雨水の分散管理の考えは。
答弁 集中豪雨に起因する道路冠水等の対応は、雨水対策事業を実施。道路事業による雨水対策には補助制度がなく、解決には地区全体の詳細な雨水排水に関する経路等の調査解析と整備計画による対策が必要と考えています。

国民健康保険税の収納対策 均等割減免について



国保ポケットブック

質問 市町村国保は、世帯内の子ども的人数が増えると均等割があるため税負担が重くなり、第三子以降は子育て支援策として賦課しない市町村もある。それに対する本市の見解と収納対策は。
答弁 子どもに係る均等割保険料軽減措置の導入については、平成

質問 子どもの入学には、制服など色々の費用がかかる。準要保護世帯への入学前支給は必要と思うが、対応は。
答弁 予算措置や要綱の整備、支給ルールの確立が必要となり、今

危険空き家の解体促進と固定資産税の扱いについて
質問 解体を要する危険空き家については、周辺の住民から天候が荒れるたび不安の声がある。解体

れから国保制度の改正状況や県内市町村の状況を見極めながら対応したいと考えます。収納対策は、県の指導、助言に基づき滞納世帯に対して、個別の実情を把握するため、分割納付や納税相談を実施し、収納率向上や負担の公平性を確保するよう努めています。

た方、市町村税の減免措置を受けた方、児童扶養手当の支給を受けている方のいずれかに該当する方、または、要保護者に準ずる程度に経済的に困窮している方です。入学準備金の使途は限定はなく、家庭の実情に応じて利用していただけます。

ともに、所有者に対して適正管理を促す通知を送付していますが、補助金制度を活用しても自己資金を要するため、空き家の解体が進まない状況です。県内でも高い補助率ですが、制度の周知ときめ細かな対応にあたり事業を進めません。固定資産税の減免は全国の自治体の実施状況を鑑み、対応したいと考えています。



飯田川保健福祉センター 風呂再開について



鑑 仁志
議員

質問 飯田川保健福祉センターの風呂に関しては、平成10年に国が国民健康保険税のかけ過ぎを憂い、減少を目指し全国に補助金を下し、予防と健康増進を願って設置したものと記憶している。費用対効果の対象としては、いささか疑問があるものの、住民から再開を望む声が多々あります。集う場所があり、連帯感のある暮らしは、心の健康にもつながる筈。現在の足踏状態から再開へと願い、市長の任期内の方向づけは。

答弁 強い要望も承知しています。健康福祉施設であり高齢者の集う地域憩いの場とは認識しています。一日20人と利用者が少ない状況です。
市が実施している「高齢者ふれ



風呂休業中の飯田川保健福祉センター

あい交流支援事業」の平成26年度から28年度までの利用実績割合は、「くらら」が91・2%、「プラザの湯」が5・3%、「飯田川センター」は3・5%の利用率です。再開にあたっては、利用者の減少が大きな問題です。公共施設の再編等を抱えて、財政運営を持続可能にいくためには、財政の状況も勘案しその中で3町の公平さも考えています。先行きは暗いわけではなく検討します。

平成29年度の総括について

質問 今年度を振り返りどどのような点に配慮し、どのような成果があったのか、本年度の総括は。

答弁 「対話」と「交流」を実践してきたことが一つの成果です。主なものとして、
一つめは子育て支援の充実と教育環境の整備であり、待期児童の問題から「昭和こども園」の整備を進めました。

二つめは産業振興と企業誘致であり、一昨年は航空産業の山本精機、昨年は山形県の富士ソーイング、本年度は昭和工業団地に東洋熱科学が進出決定し、操業を一部始めています。

三つめは健康寿命であり、健康で長生きしていただくための施設として八郎瀉ハイツ跡地に「防災・健康拠点施設」を整備、若い世代を含む幅広い方々の健康づくりに積極的に取り組む環境を整えます。

2月臨時会

改選後初の議会は2月22日午前10時から市役所議場にて開催されました。議長には西村武議員、副議長には児玉春雄議員が選挙により当選しました。続いて常任委員会・議会運営委員会・議会改革推進会議・議会議員政治倫理審査会の委員の選任、一部事務組

◆総務文教常任委員会

	氏名
委員長	佐藤 義久
副委員長	鑑 仁志
委員	瓜生 望
委員	鈴木 斌次郎
委員	堀井 克見
委員	西村 武

◆社会厚生常任委員会

	氏名
委員長	小林 悟
副委員長	菅原 理恵子
委員	鈴木 壮二
委員	中川 光博
委員	澤井 昭二郎
委員	大谷 貞廣

◆産業建設常任委員会

	氏名
委員長	伊藤 正吉
副委員長	佐藤 敏雄
委員	戸田 俊樹
委員	藤原 典男
委員	菅原 秀雄
委員	児玉 春雄



議会改革 推進会議

議会基本条例に基づき、
条例の運用・検証・見直し・啓発に関する事項、
議会改革の推進に関する
事項の協議を行います。



議会議員政治 倫理審査会

議会議員政治倫理条例
に基づき、議員の政治倫
理に関する事項の審査を
行います。

関係私企業の公表

「潟上市議会議員政治倫理条例」に基づき、議員から関係私企業等の届け出がありましたので、その概要を公表します。就業報告書（役職となっている団体等の名称等を記載）は閲覧することができますので、議会事務局に申し出ください。

3月1日現在のものを議席番号順に掲載しています。

氏名	職業	本人が実質的に経営に携わっている企業・役職名
鈴木 壮二	理容業、 運転代行業	ヴィヴァーチェ・カットクラブ 代表 昭和運転代行業 代表
戸田 俊樹	農 業	
菅原 理恵子	無 職	
瓜 生 望	会社役員	サインファミリー(株) 代表取締役
鈴木 斌次郎	農 業	
佐藤 敏雄	美容師	髪の十兵衛 代表
鐙 仁志	米穀小売業	鐙惣米穀店 代表者
中川 光博	無 職	
澤井 昭二郎	農 業	
佐藤 義久	商 業	明玉商機 代表
伊藤 正吉	商 業	Yショップ飯田川店 経営者
藤原 典男	政党役員	
堀井 克見	無 職	
菅原 秀雄	農 業	
小林 悟	会社役員	昭和電気工業(株) 代表 かたがみパワー(株) 代表 オーシャンウィンド(株) 代表
大谷 貞廣	無 職	
児玉 春雄	無 職	
西村 武	不動産業	コーポ西村 代表者 南天王バッティングセンター 代表取締役社長 翔和ゴルフガーデン 代表取締役

合・広域連合議会議員の選挙、議会広報編集特別委員会の設置決議と委員の選任を行いました。
また、専決処分1件を承認しました。

◆専決処分の内容

●平成29年度一般会計補正予算(第8号)除排雪経費として1億円を追加するものです。

◆議会運営委員会

	氏名
委員長	鐙 仁志
副委員長	鈴木 斌次郎
委員	佐藤 敏雄
委員	澤井 昭二郎
委員	伊藤 正吉
委員	堀井 克見

◆議会広報編集特別委員会

	氏名
委員長	瓜 生 望
副委員長	菅原 秀雄
委員	鈴木 壮二
委員	菅原 理恵子
委員	中川 光博
委員	藤原 典男

◆議会改革推進会議

	氏名
委員長	佐藤 義久
副委員長	菅原 秀雄
委員	鈴木 壮二
委員	佐藤 敏雄
委員	中川 光博
委員	小林 悟

◆議会議員政治倫理審査会

	氏名
委員長	大谷 貞廣
副委員長	瓜 生 望
委員	鈴木 斌次郎
委員	小林 悟
委員	児玉 春雄

議場見学しました!!



3月10日(土)庁舎4階にある議場を「りきのすけ未来塾」で地域のことを学ぶ潟上市内の小学生17名が見学しました。

子ども達からは「テレビで見るより広い!!」などの感想が出たり、思い思いに議員や市長の席に座ったりしながら普段あまり入ることのない議場に興味津々の様子でした。

りきのすけ未来塾

市内小学生 17名参加

議会運営委員会

議会の運営を円滑、効率的に進めるため、議会の会議規則、委員会条例、議長の諮問に関する事項について調査、審査を行います。



広報編集特別委員会

「みんなのギカイ」の編集・作成・取材等を行います。



編集後記

今、時代が大きく変わっています。少子高齢化そして、人口減少。私達の街もその影響は大きくなっています。私達6名が新たに議会広報の編集を任せられ、一番最初に決めたことが、「変化」することでした。

市議会だよりを通じて、みんなと議会がより身近になること。そして何より、今まで中々出来なかった「変化」を分かりやすい形で表現していくことが出来るのではないかと思っただけです。

私達自身も「変化」することがメッセージとなり、みんなと一緒に強い、そして誇れる潟上を創っていきたくと思っています。
(瓜生 望 記)

市議会の傍聴へ

お越しください

潟上市議会では定例会・臨時会を傍聴することができます。日程等の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください。
なお、インターネットでも録画で議会をご覧になれます。

「みんなのギカイ」
みなさんの
ご意見を
お寄せください。

